

～海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」～
**海の公園のアマモのブルーカーボンによる
カーボン・オフセットが実施されました。**

日本初

横浜ブルーカーボン・オフセット制度で認証された海の公園の公園管理区域内に生息するアマモによるブルーカーボン（12.3 t-CO₂）のクレジットが日清オイリオグループ株式会社横浜磯子事業場とJXTGエネルギー株式会社根岸製油所に譲渡され、両社によりカーボン・オフセットが実施されました。

両社は、以前から磯子区内の他事業者とともにアマモ場再生のボランティア活動に取り組んでおり、アマモのブルーカーボンのクレジットによるカーボン・オフセットの実施が、自社の温暖化対策の推進と豊かな海づくりの支援となることから、クレジットの購入を決定されました。

アマモのブルーカーボンによるカーボン・オフセットの実施は日本初の取組です。

【海の公園のアマモについて】

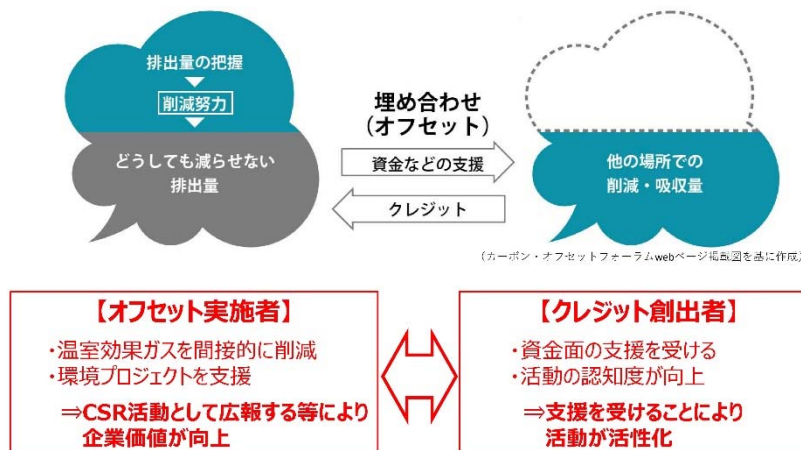
海の公園は、1988年に、金沢地先埋立事業の一環として整備された公園です。海辺には、約1kmにわたる砂浜と豊かな緑が広がり、海と人とがふれあえる貴重な憩いの空間となっています。自然に見える砂浜ですが、千葉県から運んだ砂で人工的につくられたものです。

海の公園では、2001年から「アマモ場再生」が取り組まれ、その輪が広がり、市民団体、企業、大学、小学校、漁業者、行政などが活動してきました。2005年には、上皇上皇后両陛下から海の環境改善に取り組んでいる子供たちにお手渡しされたアマモが植えられました。市民主導でのアマモ場再生の成功事例とされています。



【カーボン・オフセット制度】

CO₂ 排出量削減の手法のひとつとして、他者の CO₂ 排出量削減や CO₂ 吸収・固定の効果を買い取り、自らの CO₂ 排出量と相殺するカーボン・オフセットがあります。カーボン・オフセットには、クレジット創出者には資金面の支援を受けることにより活動が活性化できるメリットがあり、オフセット実施者には CSR 活動として広報を行うことで企業価値が向上するメリットがあります。



横浜市では、2014 年度から本市独自の横浜ブルーカーボン・オフセット制度を運営しており、横浜ブルーカーボン・オフセット制度のクレジットは横浜市地球温暖化対策計画書制度において報告される調整後排出量に適用することができます。

【日清オイリオグループ株式会社 横浜磯子事業場のカーボン・オフセット】

「ウエルネスギャラリー」等における、2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの電力の使用により排出される CO₂ の一部 (6.2t-CO₂)

－ 日清オイリオグループ株式会社より －

当社グループでは、成長戦略を支える重要な施策として ESG を重視した経営の実践を進めています。環境対応の一環として 2004 年からボランティアでアマモ場再生に協力してきました。海の公園のアマモのブルーカーボンでのカーボン・オフセットを当社で実施できたことを大変嬉しく思います。これからも海洋資源活用の温暖化対策に取り組んでまいります。

【JXTG エネルギー株式会社 根岸製油所のカーボン・オフセット】

根岸製油所の「ENEOS ホール」等における 2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までの電力の使用により伴い排出される CO₂ の一部 (6.1t-CO₂)

－ JXTG エネルギー株式会社より －

弊所は、CO₂ 削減のためのアマモ場再生活動に賛同し、毎年参加していますが、このたび、更なる CO₂ 削減への取組みとして、「横浜ブルーカーボン」のクレジットを購入いたしました。横浜の海で行われているアマモ場再生活動の認知度を高め、社会に定着させていく一助になれば幸いです。

お問合せ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 岡崎 修司 Tel 045-671-2636